

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	K's garden天子の森			
○保護者評価実施期間	2025年3月1日 ～ 2025年4月28日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61人	(回答者数)	35人
○従業者評価実施期間	2025年4月1日 ～ 2025年4月28日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数)	7人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月23日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	●子ども一人ひとりにあったオーダーメイドの療育	●子どもの得意・不得意を理解した上で、子どもの良いところを伸ばすような支援目標、支援内容にしている ●支援では、子どもが遊びを通して楽しさを感じることを大切にしている ●個別療育では、同じ時間、同じ担当者、同じ場所で、行うことで安心感を持って通えるようにしている	●アセスメント時に事業所内で子どもが遊ぶ様子や好きな物・事を見つける事で、楽しみながら療育にお通いいただける内容に基づいた個別支援計画作成に務める ●個別・グループ療育内に関わらず一人ひとりの意向を尊重しながら支援を提供していく
2	●保護者に寄り添った支援	●療育後に、保護者との振り返りの時間を設け、子どものこと、子育てのこと、ご兄弟のことなどをお聞きしている ●1クール6セッションのペアレントトレーニングを開始し、保護者の持つ悩みに寄り添いながら、参加者同士の交流の機会を促すこと、セッションではプチ講義とロールプレイにより学びを身に付けられる内容を提供している	●アセスメント時に保護者からの直接の聞き取りやモニタリングシートを活用し、保護者のご意向に沿った個別支援計画作成に務める ●卒園後も同窓会を開催する等、保護者同士が交流出来る機会を設け情報交換ができる機会を継続していく
3	●子どもの育つ環境を考えた充実した支援の提供	●保育所等訪問支援も行っているため、教室内だけではなく、通所先の施設などに行き、子どもの様子を共有している ●近隣の系列保育園の行事や保育活動に参加し、保育園児と一緒に遊びを楽しむ機会を作っている	●図書館や消防署等地域資源を活用した活動の企画や取り組みを行っていく ●他事業所や園との連携を行い短期・長期目標に達成出来るように支援を行っていく

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	●療育を行うスペースが狭いと感ずることがある、というお声がある	●療育内容によっては、スペースに狭さを感じている方がいらっしゃることを認識しており、広さを変えることができないので、パーティションやスタッフの配置、活動内容などを工夫することで、安全性を最優先しながら狭さを感じにくい工夫を重ねていく	●限られたスペースの中でも楽しめる運動遊びについて勉強会をスタッフ内で開催し療育支援に活かす
2	●パーティションで仕切られた空間の中で隣のブースの音が気になるというお声がある	●療育活動中に隣の声が聞こえて気になる子どもがいらっしゃることは認識しており、必要に応じて子供の座る位置、スタッフの配置、活動内容、声の大きさを工夫することで、集中が出来る環境に工夫を行っていく	●声を大きくださずとも支援員を見て指示理解が出来る様に引き付ける工夫を重ねていく ●子どもに「声の大きさカード」等視覚支援を行い、場面に合った適切な声の大きさを会話をするように促していく
3	●言語聴覚士や心理士の有資格者がいない	●専門的支援を望んでいらっしゃる保護者の思いを感じながら外部研修や園内研修に参加し、スタッフが常に自己研鑽を重ねながらスキルの向上を行い支援を継続している	●引き続き外部研修等に参加し、園内研修を行う事で教室全体のスキルの向上につなげより良い専門的支援が行える環境を整えていく

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
K's garden天子の森		2025年5月23日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		●グループ療育、個別療育の運動遊びの時には、広めにブースを設定するようにしている ●パーテーションなどを使いスペースを広く確保し、スタッフの立ち位置を考えている	●グループ療育時は狭いと感じることがある
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		●スタッフ間で業務を共有し、協働できる体制を整えている	●外出や休暇の職員がいるとぎりぎりになる
	3	2025/5/23	7		●個別療育では毎週同じブースを使用し、子どもに分かりやすい環境作りを行っている ●パーテーションにガード用のゴムを付けている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		●机やイスは、子どもに合ったサイズを使っている ●パーテーションは子どもに合わせて使い方を工夫して使用している ●キエルキンを使い、こまめに消毒と掃除をしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		●ブースに分かれて活動に集中しやすい環境設定を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		●年度毎の会社独自の目標設定シートによる目標設定と6か月ごとの上長との振り返りの機会がある ●定期的に行うことで、意識付けできている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		●職員間で振り返りの機会を設け、そこで出たことを、後日議題として業務改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		●研修に出られなくても研修出席者から研修内容を聞いたり、回覧で確認できている	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		K's garden天子の森		公表日		2025年5月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		●保護者に記入していただいたモニタリングシート、ヒアリング、遊ぶ姿を元に児発管同席の上担当者会議を開催し作成している	●毎回の療育においても子ども・保護者のニーズに合った支援になっているか振り返り時に確認を継続していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		●作成時に担当者会議、毎月2回療育ミーティングではスタッフ全体で子ども1人ひとりの現状や目標を確認、検討を行っている	●担当者と児発管との担当者会議の他に別途ミーティングの機会を設ける事で共通理解をさらに深めていく
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		●療育ミーティング時や担当者会議ではスタッフ全体で計画が共有され、子ども1人ひとりの現状や目標を確認、検討を行っている	●毎回の療育での振り返り時に個別支援計画に沿った目標への達成についても共有する
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		●アセスメント時には太田ステージや遊ぶ姿を基に確認を行っている	●関係機関との連携を取り、事業所外での様子について情報収集を行う事で更に具体的な状況の把握を行っていく
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		●児童発達支援ガイドラインに基づいた書式で個別支援計画の作成を行っている	●こどもの最善の利益や保護者の意向を計画作成時にモニタリングシートを活用して作成していく。作成後にも保護者に確認、都度見直しの機会を設ける
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		●月に1回、担当児シートをスタッフで共有し、意見交換の中で見直しに繋げている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		●その日の朝礼で確認している ●細かく打ち合わせができている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		●毎回しっかり伝えている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		●毎回しっかり伝えている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	●保護者とも行っている	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		K's garden天子の森				公表日	2025年5月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			●回数は少ないと思う	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		●保育所等訪問支援の際に共有している ●そのほか必要に応じて行っている		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	●訪問支援や入学前にスマイルプランなどで情報提供を行っている ●スマイルプランを作成し、提供している		
	28	(28～30は、センターのみ回答)					
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答)	5	2			
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	●系列園の園児との交流の機会を作っている	●今後も広く行っていきたい	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		●毎回振り返りの時間を設け、行っている		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		●ペアレントトレーニングの提供を、希望者に始め、参加者の表情が柔らかくなったことを実感している		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		K's garden天子の森					公表日	2025年5月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7					
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7					
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7					
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	2	●療育のあとに、振り返りの時間を設け、保護者から話を聞いている ●必要に応じて、別日に相談に応じている			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		●グループ療育の中でおはなし会を開催している	●グループ療育に通う保護者の方のみが対象となっている		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		●職員間で相談して対応している			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	2	●ホームページ、ブログ、メール、インスタを活用している			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		●個人が特定できる資料は、鍵付き書庫に保管している ●見学などの目的で来客があるときは、利用中の子どもの名前を呼ばない			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6					
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	●毎週1時間ほど、未就学児を持つ親子が遊び、子育てを相談できるための時間として事業所を開放している	●時期により機会を多く設ける		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		K's garden天子の森				公表日	2025年5月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	2			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	●イベントなどで食事の時間がある時は、事前に確認をし、当日にも保護者へ確認の声をけている ●イベントなどでお菓子を配るときは、配る前に保護者に確認をしている		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		●年度始めには年間安全計画を作成、これを基に防災訓練を月に2回おこなっている。	●計画・実施の周知が明確でない為、教室内に掲示をして保護者に知っていただく。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		●個別・グループ療育内でも子ども・保護者が一緒に参加できる訓練を取り入れる。	●折に触れてブログ等で開催の報告の機会を増やす。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		●ヒヤリハットが発生した時は、職員間で共有し、全職員が回覧し確認している		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6				
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	3			